



産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 23 日

茨城県知事 殿

提出者
住 所 大阪府大阪市北区梅田 8-1
梅田阪急ビル オフィスタワー39F
氏 名 クラレエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 林 洋秀
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 06-7635-1890

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	扶桑化学工業株式会社 鹿島事業所内
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田 20 番地
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	193 億円
③ 従業員数	50 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長	責任者
↓	
エンジニアリング本部長	統括管理者
↓	
現場事務所	担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 別紙2の通り		
② 計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2の通り

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2の通り		

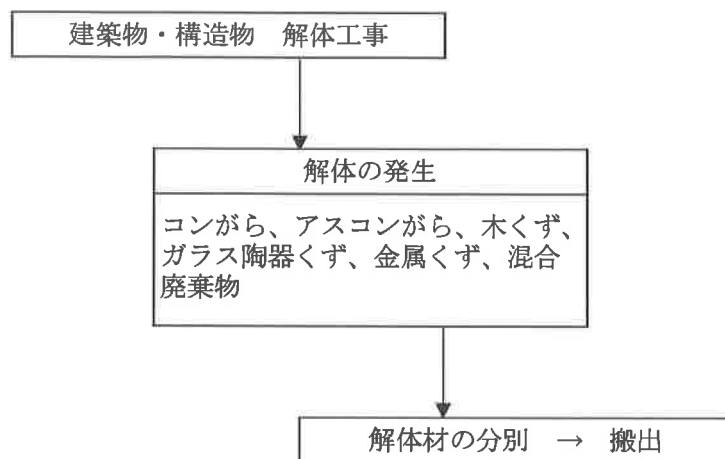
② 計画	【目標】 別紙 2 の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 2 の通り		
※事務処理欄			

(第 6 面)

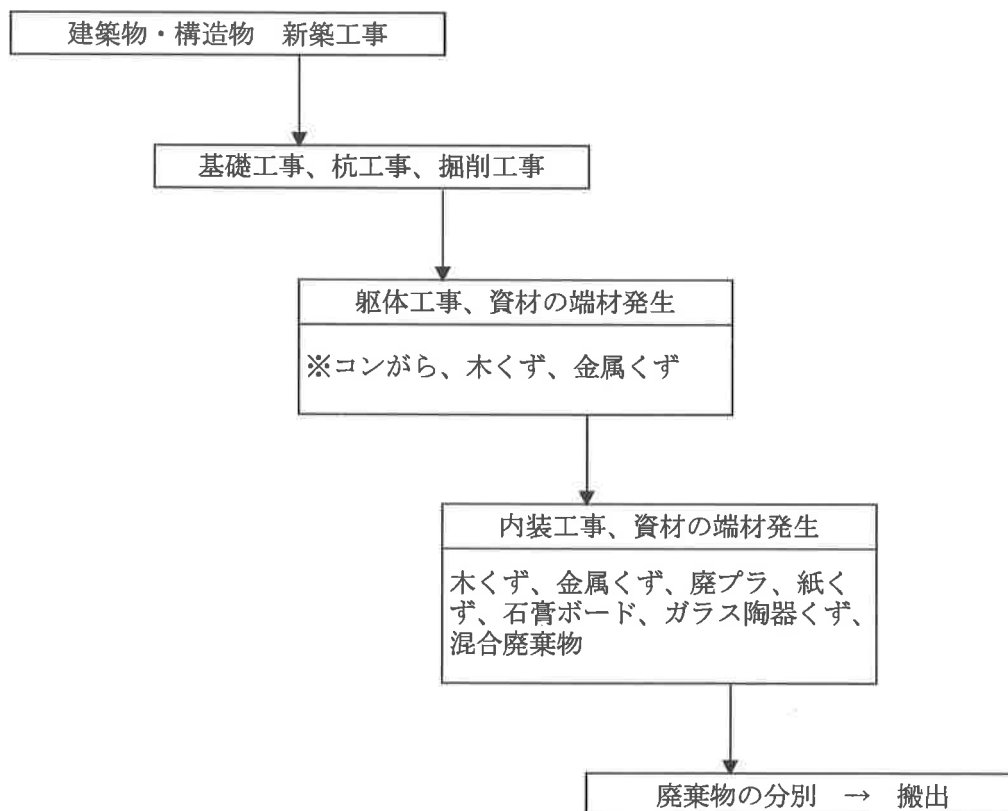
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

・解体工事



・新築工事



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	ガラス 陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃石膏 ボード	混合（管理型 含む）	合計	
①現状	257.66	269.51	77.00	135.55	48.71	148.12	14.85	148.72	1,100.12	
（これまでに実施した取組）										
1) 設計段階において、廃棄物の発生を抑制した設計を行った。										
2) 資材搬入業者と打合せを行い、過剰包装を禁止し、極力ロス・無駄のない搬入計画を立案した。										
3) 施工段階において、廃棄物発生を抑制した施工計画を行った。										
4) 可能な限り工場加工を採用し、現場加工によるロス材の発生を抑制した。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	ガラス 陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃石膏 ボード	混合（管理型 含む）	合計	
②計画	51.50	53.90	15.40	27.11	9.74	29.62	2.97	29.74	219.98	
（今後実施する予定の取組）										
1) 3 R活動徹底のため、関係者に対して教育を実施する。										

産業廃棄物の分別に関する事項

産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	
①現状	1) コンがら・金属・混合廃棄物・木材・ダンボール等、種類毎に分別保管場所を明示した。 2) 関係者に対して、廃棄物分別に関する教育を実施した。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1) 関係者に対して、廃棄物分別に関する更なる教育を実施する。

【前年度（令和4年度）実績】										
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	ガラス 陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃石膏 ボード	混合（管理型 含む）	合計	
全処理委託量（t）	257.66	269.51	77.00	135.55	48.71	148.12	14.85	148.72	1,100.12	
優良認定処理業者への 処理委託量（t）									0.0	
再生利用業者への 処理委託量（t）									0.0	
認定熱回収業者への 処理委託量（t）									0.0	
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量 （t）									0.0	
（これまでに実施した取組） 1）処理量に対応できる産業廃棄物処理業者を選定した。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	ガラス 陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃石膏 ボード	混合（管理型 含む）	合計	
全処理委託量（t）	51.50	53.90	15.40	27.11	9.74	29.62	2.97	29.74	219.98	
優良認定処理業者への処理委託量（t）									0.0	
再生利用業者への処理委託量（t）									0.0	
認定熱回収業者への処理委託量（t）									0.0	
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量 （t）									0.0	
（今後実施する予定の取組） 1）今後も処理量に対応し、適切に処分可能な委託先を選定する。										